

60250

教科書文庫

6
410.
34-1950
01304 49771

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

inches 1 2 3 4 5 6 7 8
cm 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue	Cyan	Green	Yellow	Red	Magenta	White	3/Color	Black
1	2	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25	26	27

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

文部省検定済教科書
財団法人 学校図書研究会編修

1 1 小算101
学図

教育出版
資料室

さんすうのがくしゅう

一ねんせい



広島大学図書

0130449771

文庫
50
771

学校図書株式会社発行

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

中央図書館
中央図書館

広島大学図書

0130449771



寄贈

昭和 年 月 日 文部省検定済小学校算数科用

さんすうのがくしゅう

教科書文庫

6

410

34-1950

0130449771

一ねんせい

広島大学図書

0130449771

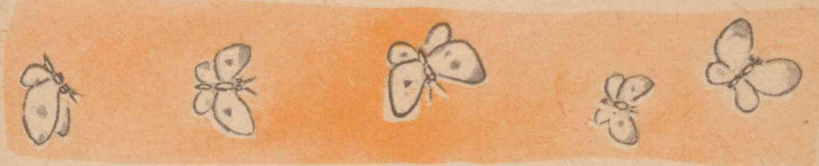


学校図書株式会社



も く

1 がっこうへ.....1
 2 がっこうの にわ.....9
 3 うんどうば.....15
 4 でんしゃごっこ.....19
 5 あめふり.....23
 6 かわあそび.....27
 7 てんらんかい.....31
 8 つみきあそび.....35

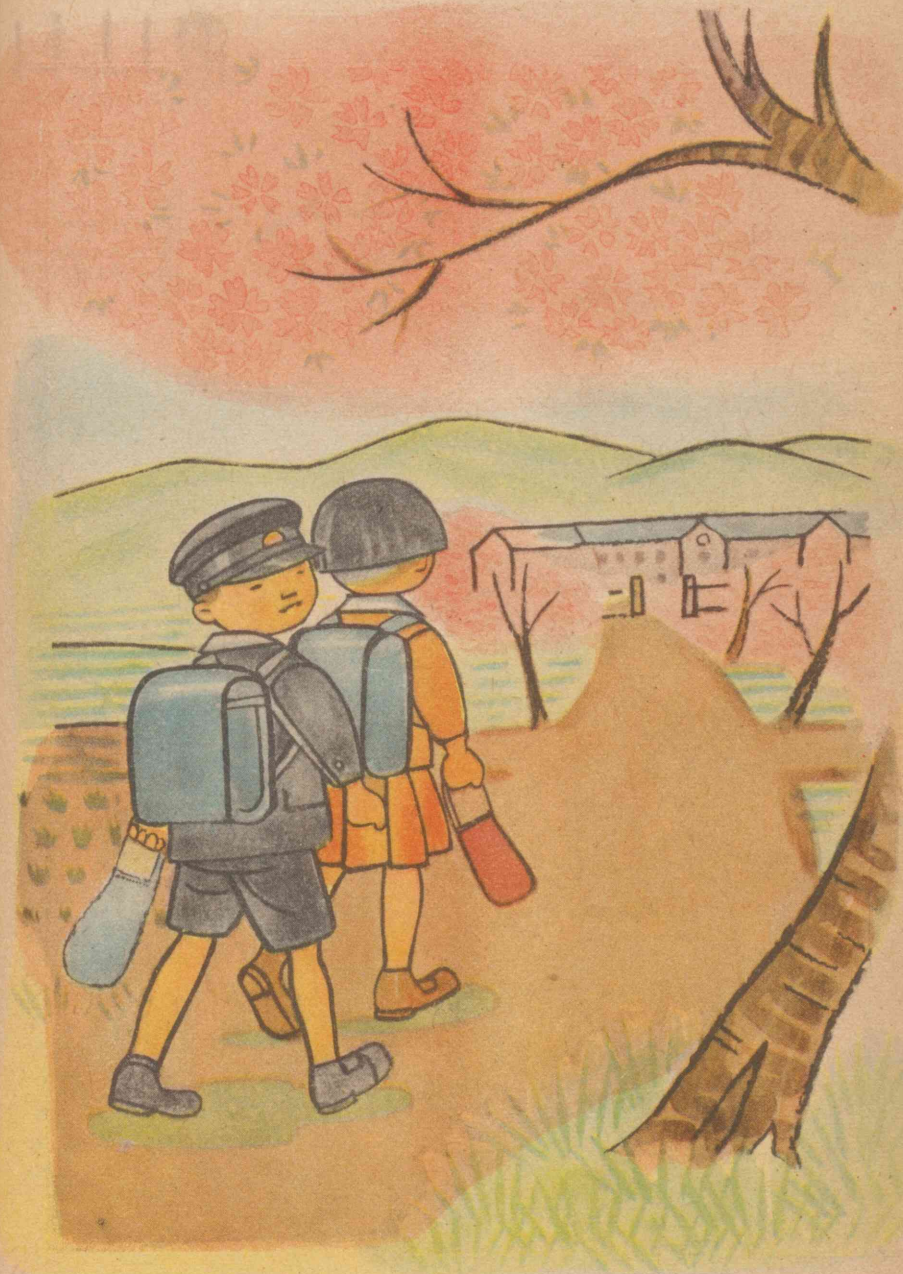


ろ く

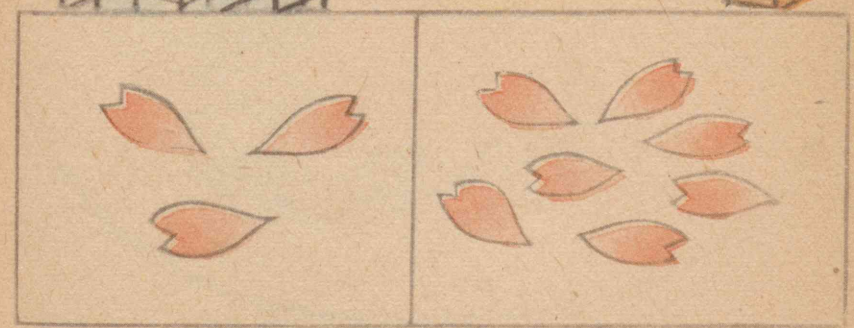
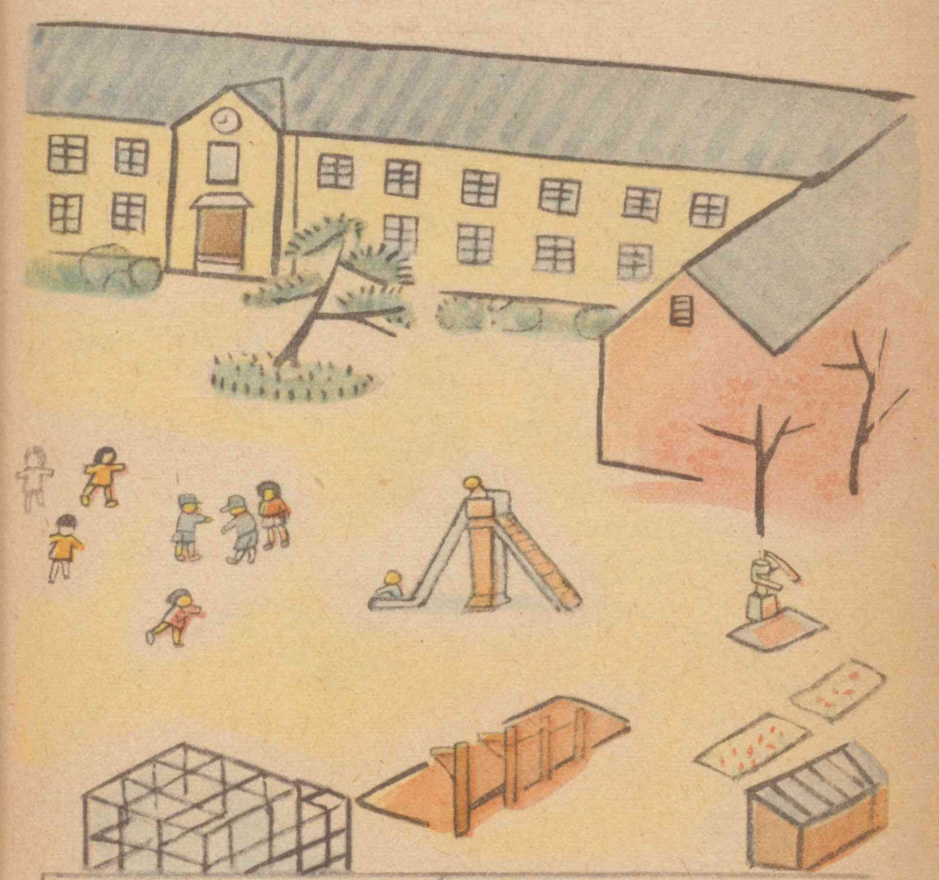
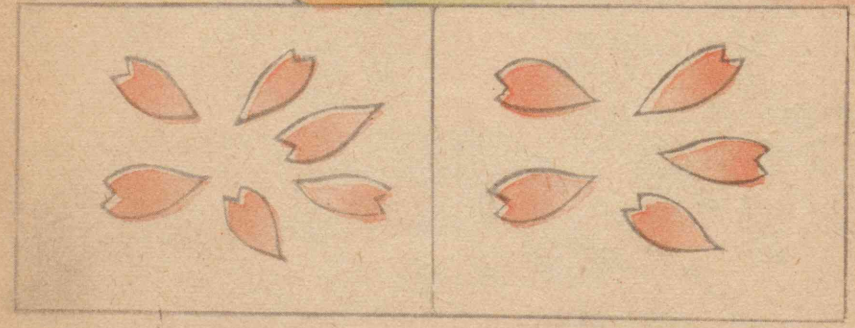
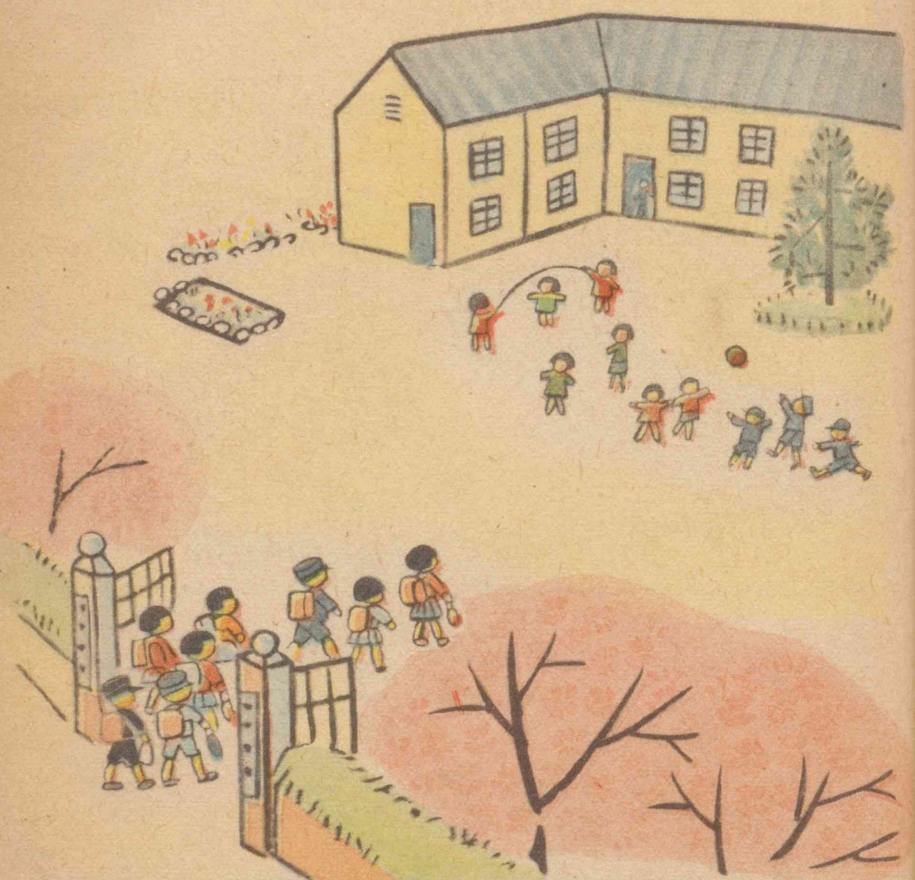
9 うんどうかい.....39
 10 にちようび.....46
 11 あさひがおか.....50
 12 おつかい.....58
 13 おしょうがつ.....64
 14 ゆき.....72
 15 おべんきょう.....83
 先生方へ...91 さくいん...93

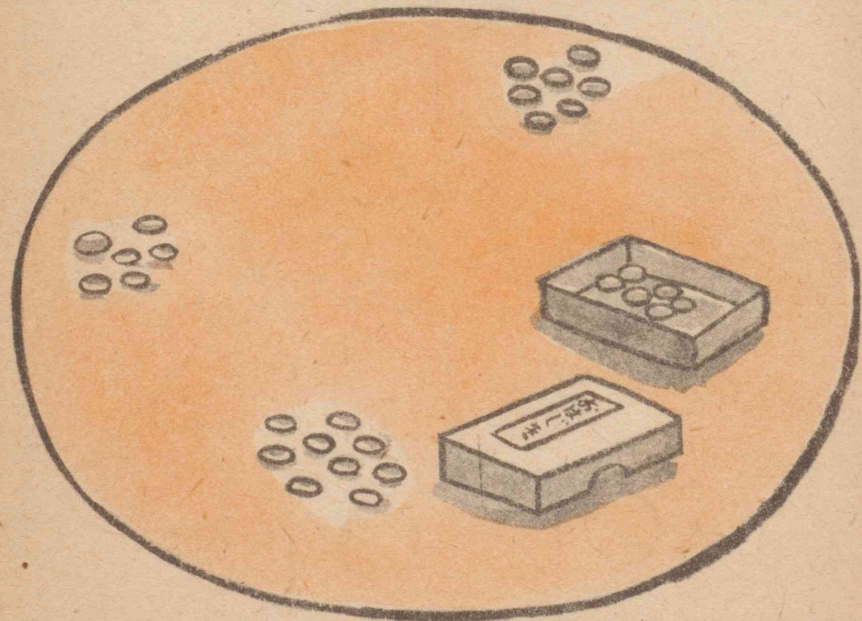


— がっこうへ —



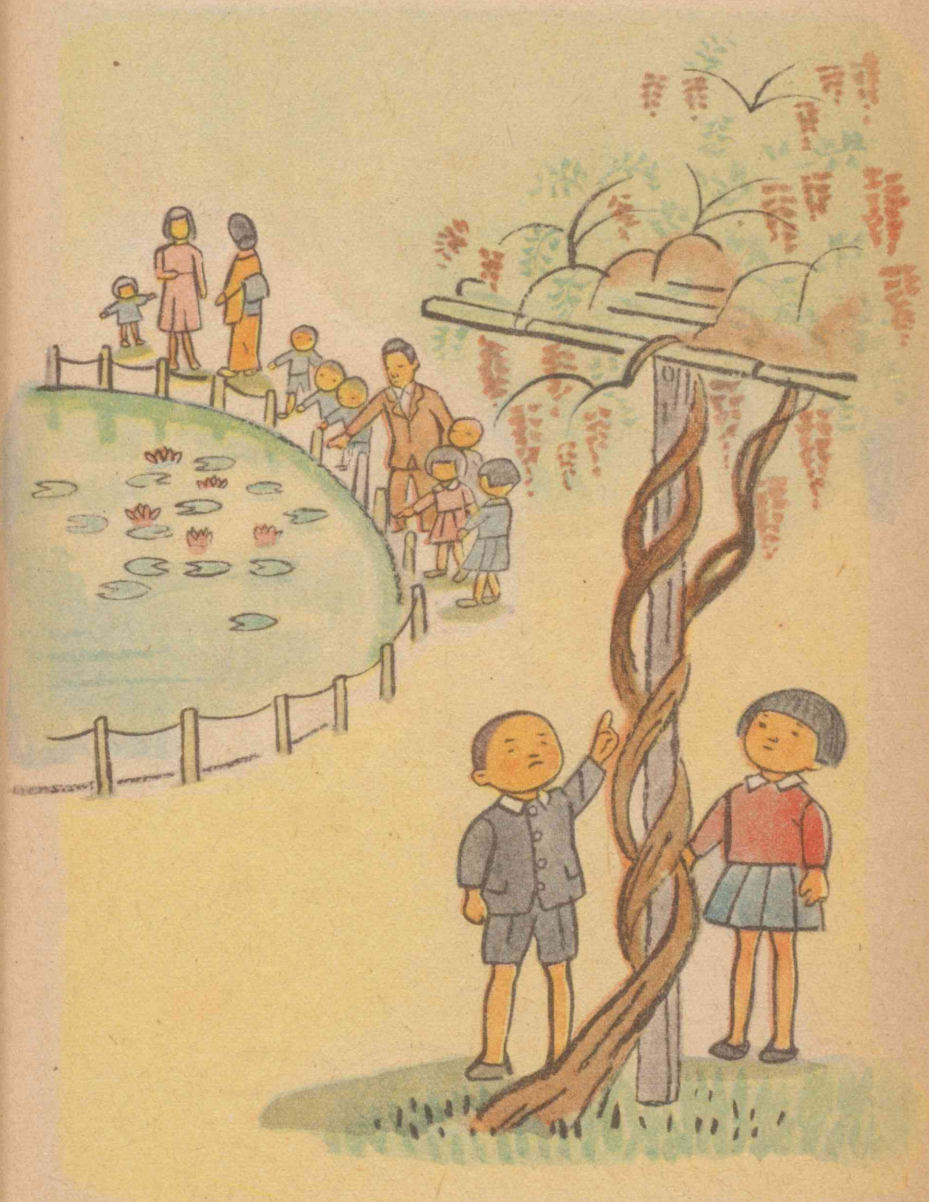






おいしい・すくない

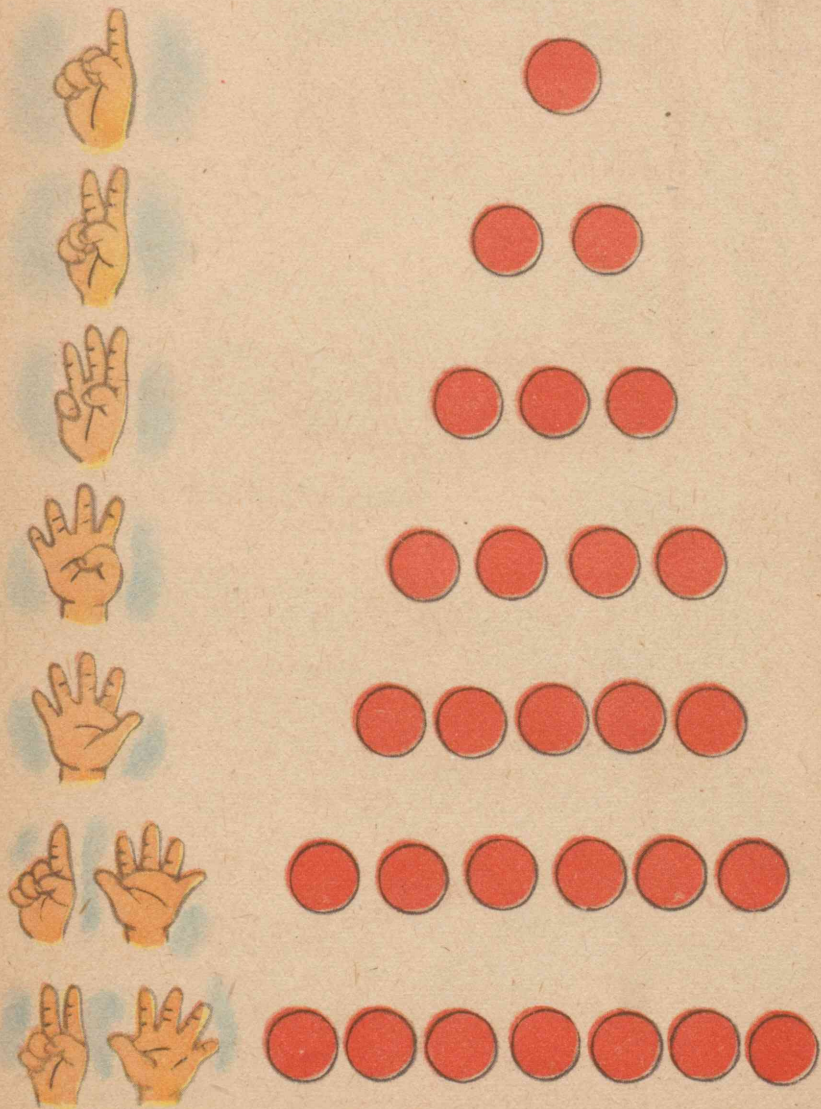
に がっこうの にわ



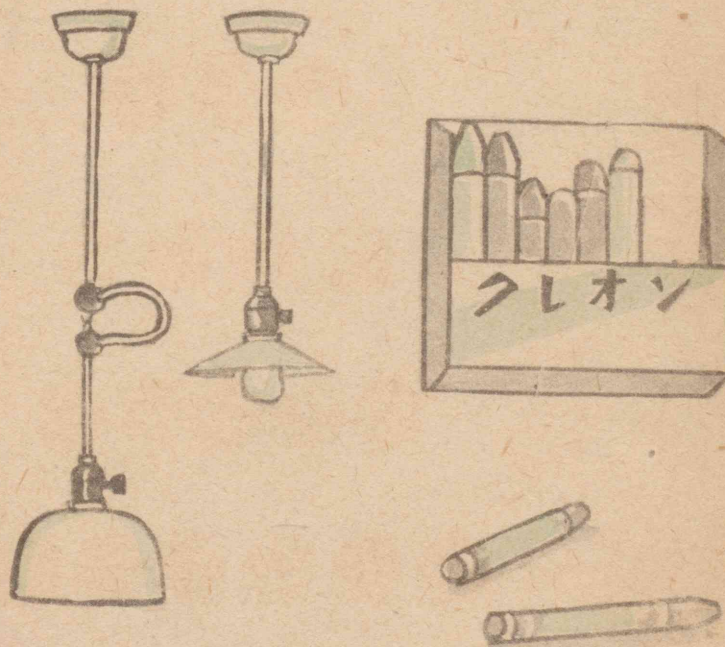
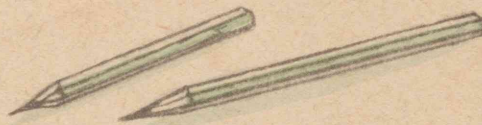




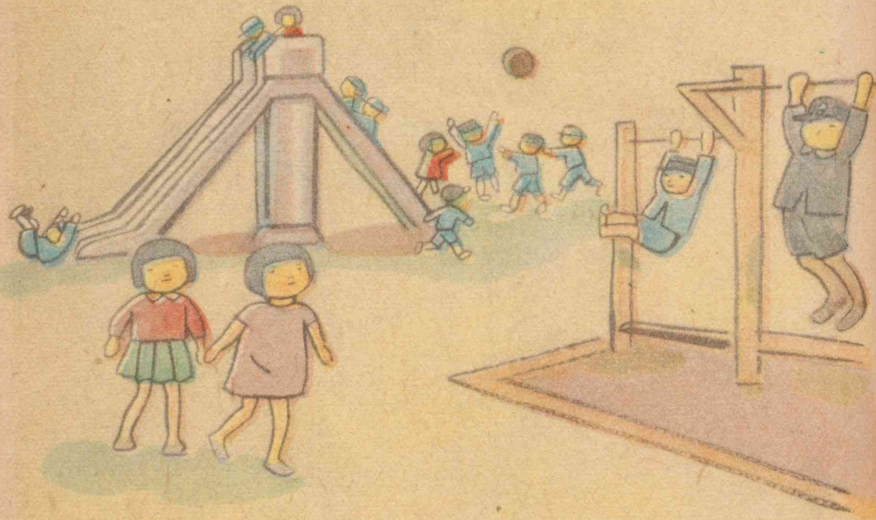
か ず

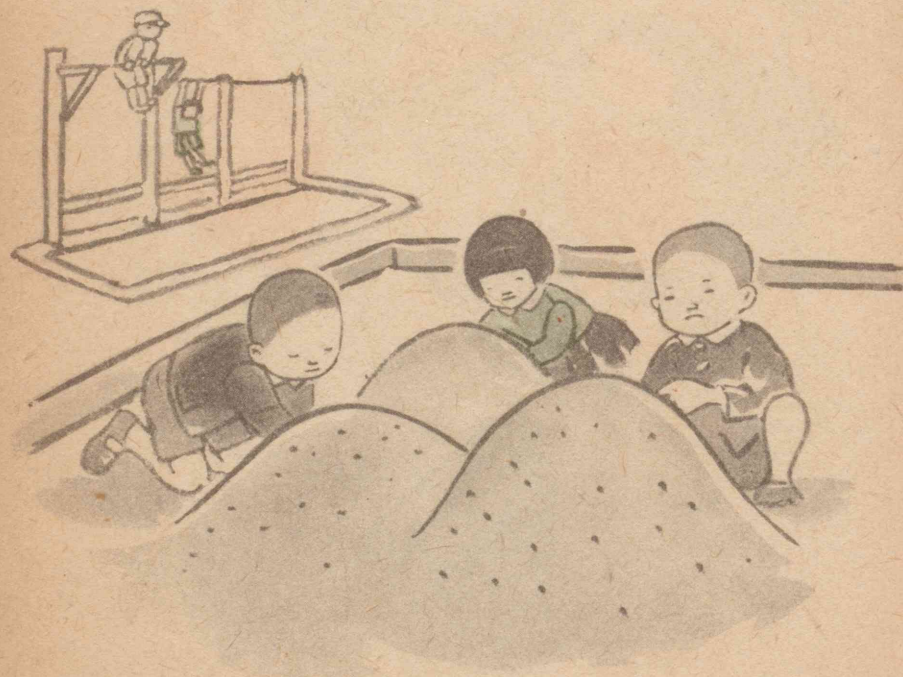
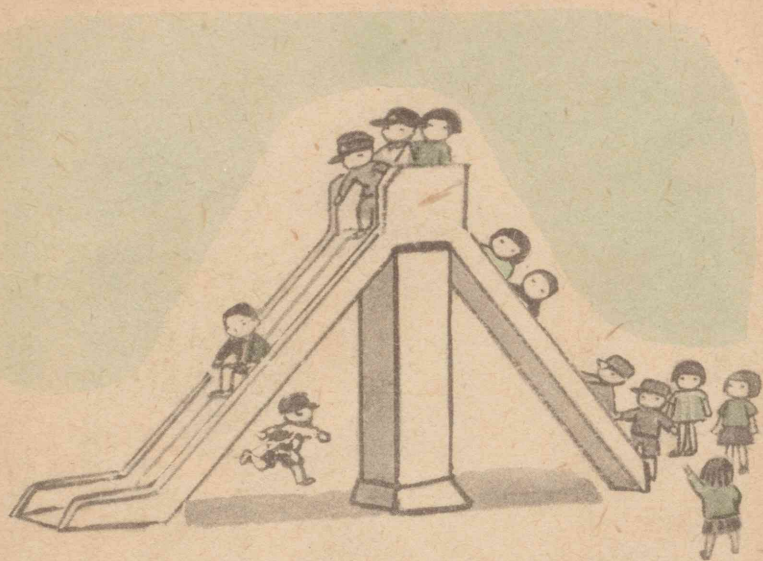


ながい・みじかい

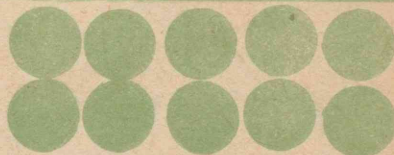
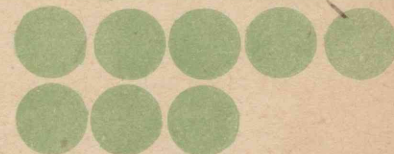


三 うんどうば

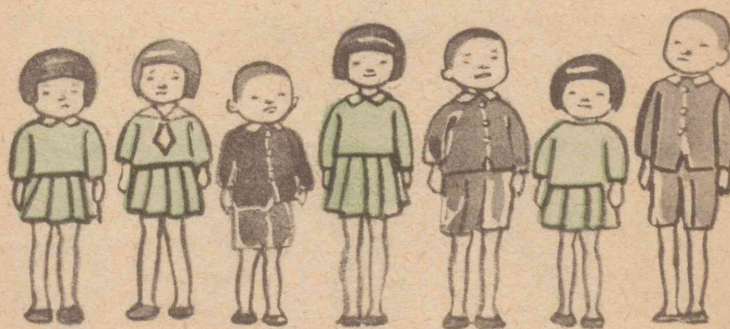




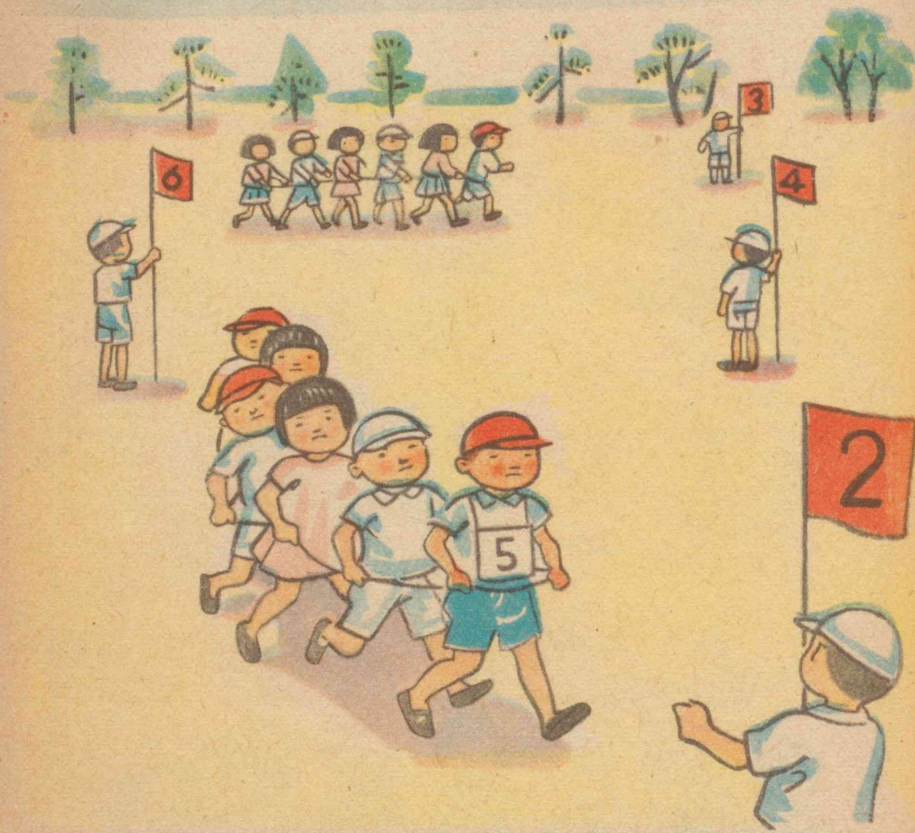
か ず



たかい・ひくい



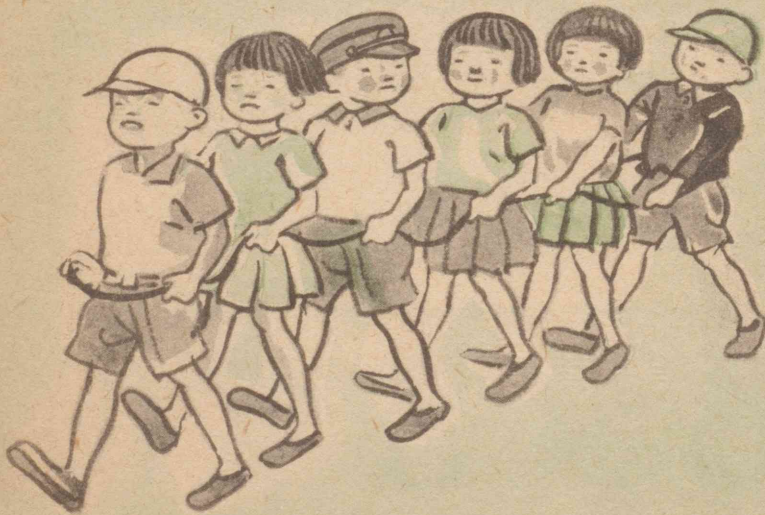
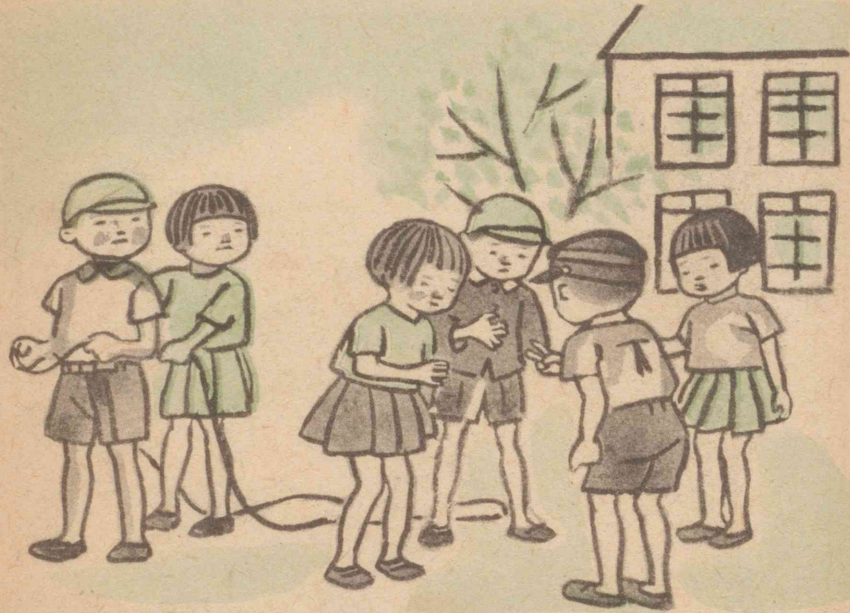
四 でんしゃごっこ



1 2 3 4 5



6 7 8 9 10



すいじ

↓1	↑2	↑3	4	↓5
6	↓7	8	9	↓10
11			12	

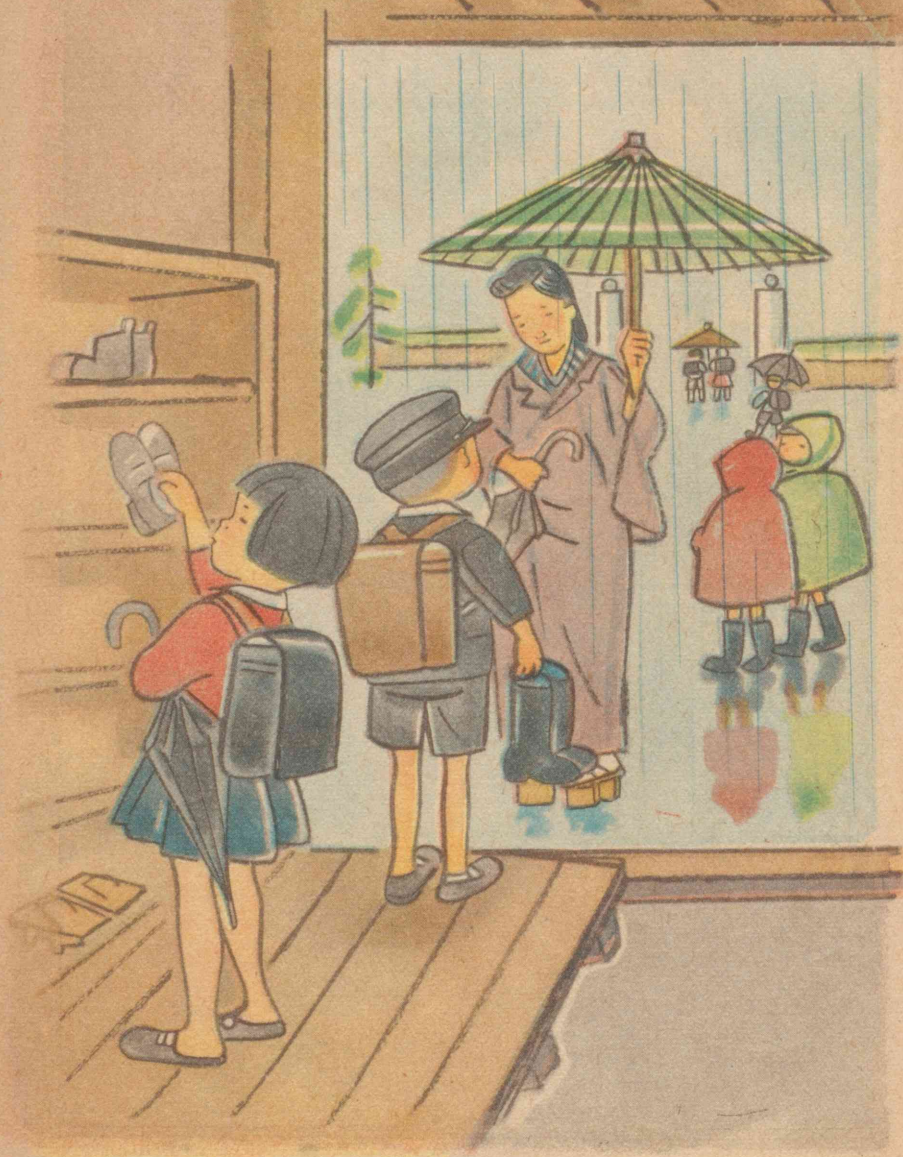
1 2 □ 4 5 □ □ 8 □ 10

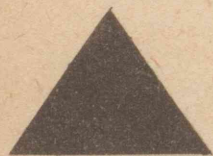
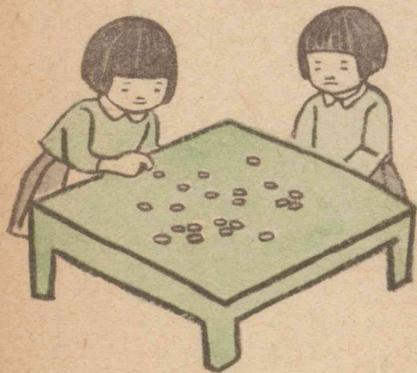
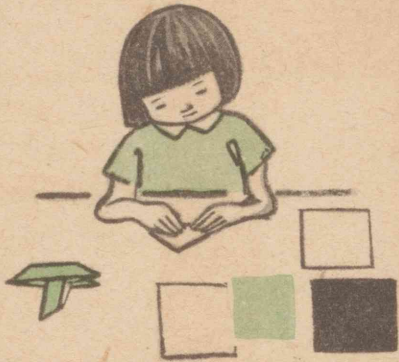
10 9 □ 7 □ □ 4 □ □ 1

3 □ 5 □ 8 9 10 □ 12

2 □ 4 □ 8 □ □ 11 □

五 あめふり

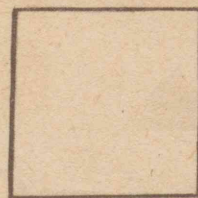




さんかく



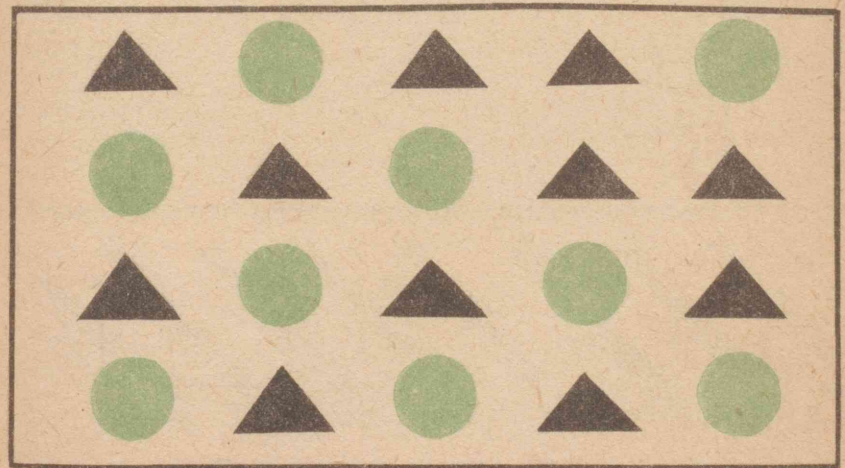
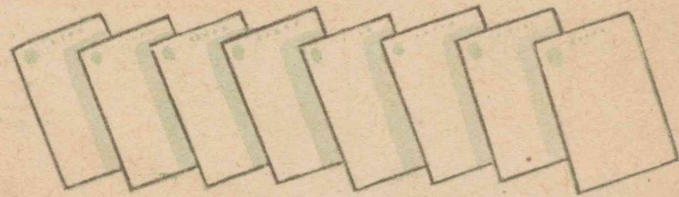
まる



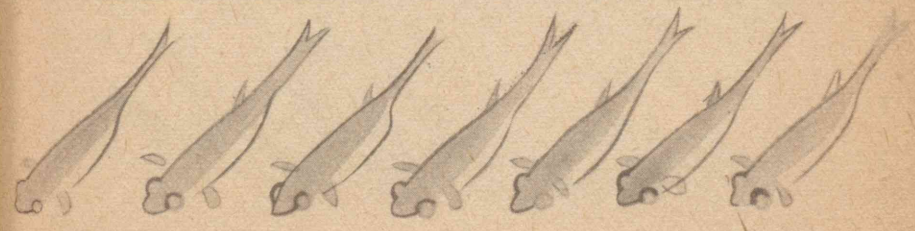
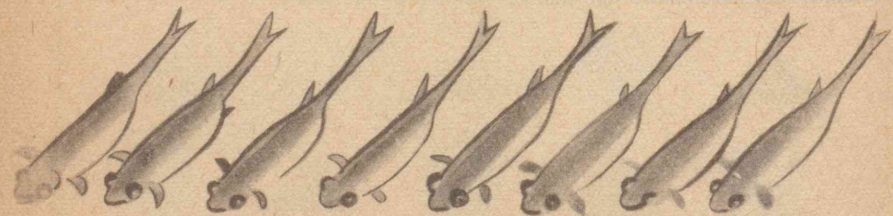
しかく

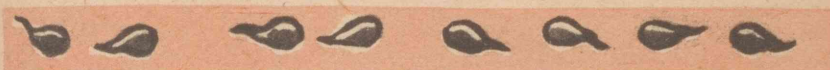
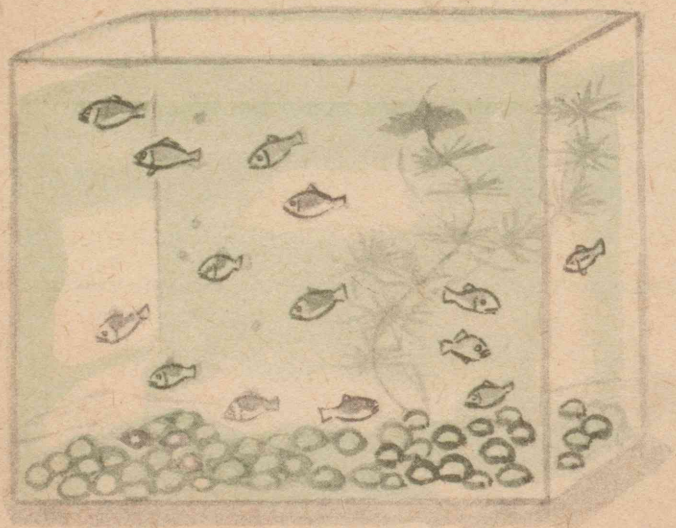


か ず

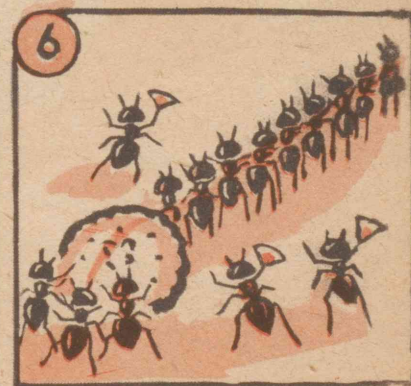
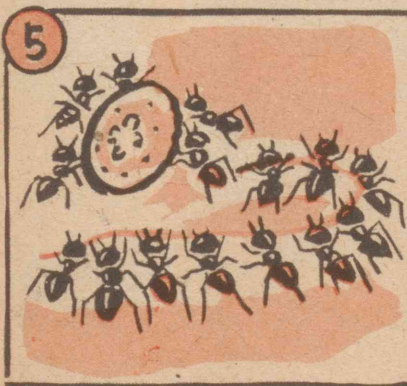
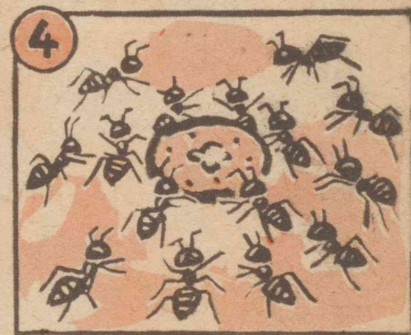
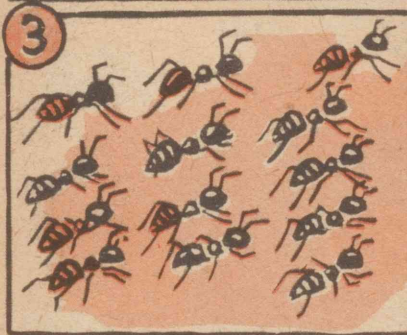
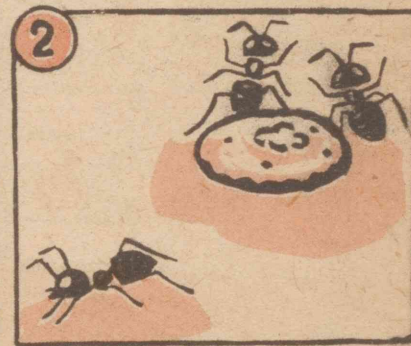
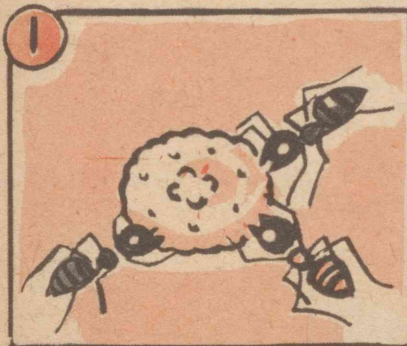


六 かわあそび

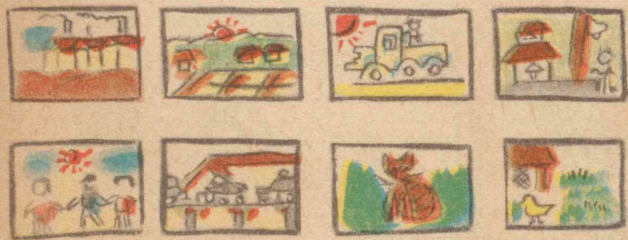




か ず



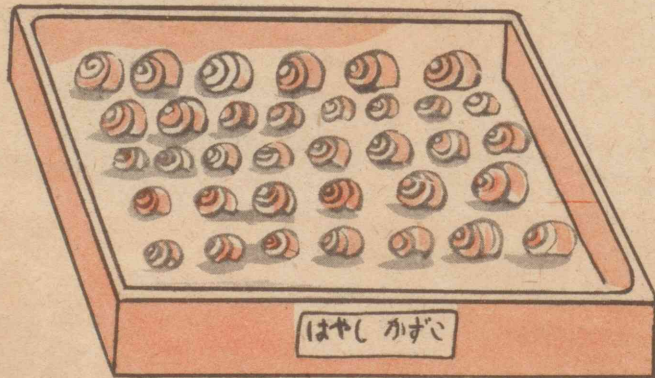
七 てんらんかい



しんいちさんと
かずこさんが、てん
らんかいをみて
います。



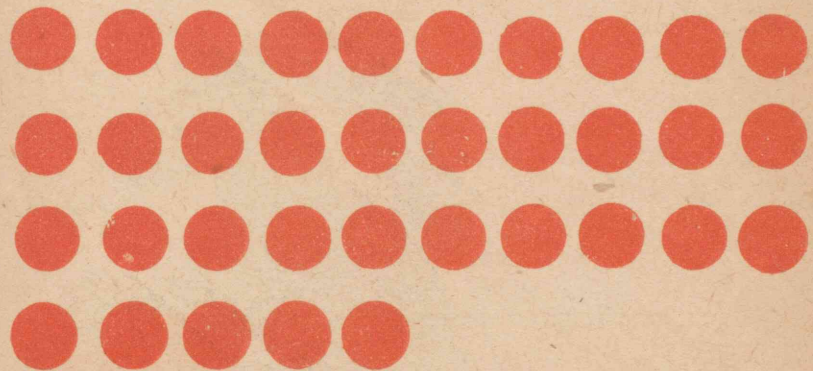
- がようしの たては どこでし
う。
- よこは どこでしう。
- どちらが ながいでしう。



- いくつ あるでしう。



か ず

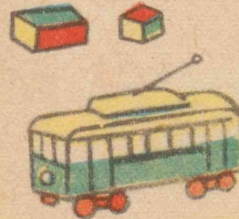
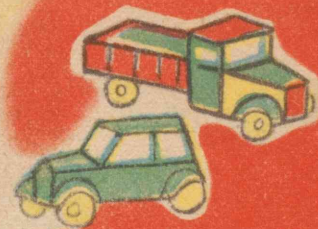
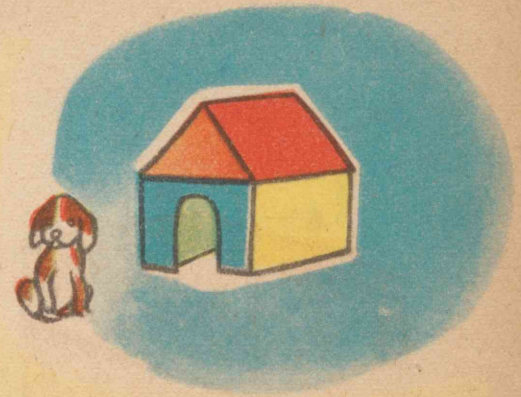
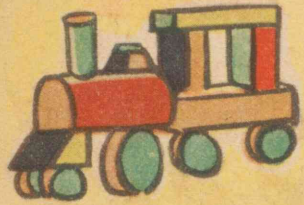


27

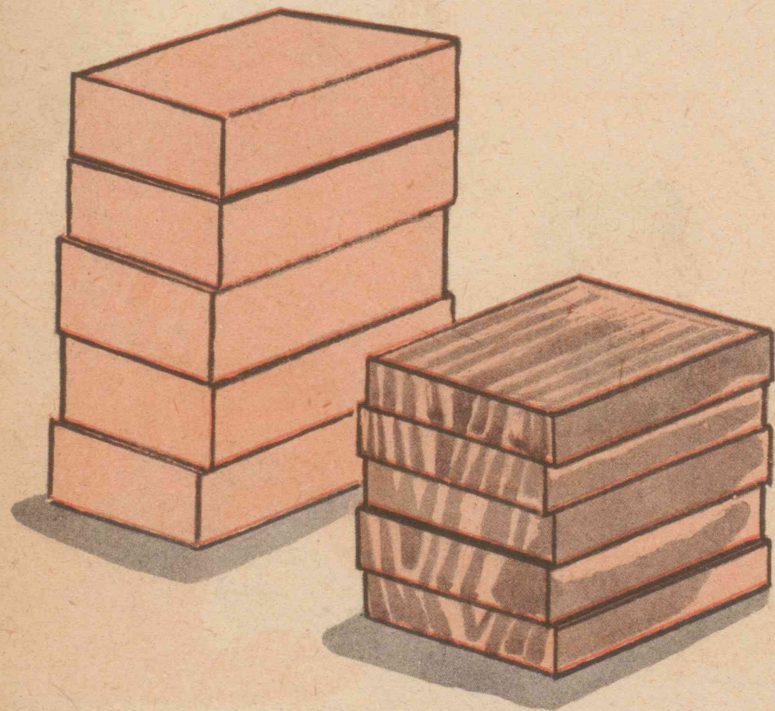
35



ハ つみきあそび



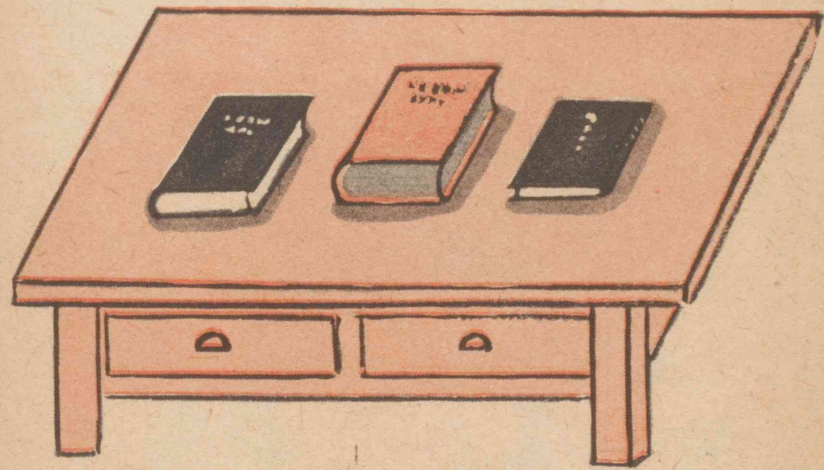
しんいちさんが、
おとうとと つみき
あそびを して い
ます。



- どちらが たかいでしょう。
あつい いたが、5まい つんで
あります。うすい いたが、5まい
つんで あります。



あつい・うすい



- いちばん あついほんは どれ
でしょう。
- にばんめに あついののは どれで
しょう。
- いちばん うすいのは どれでし
ょう。

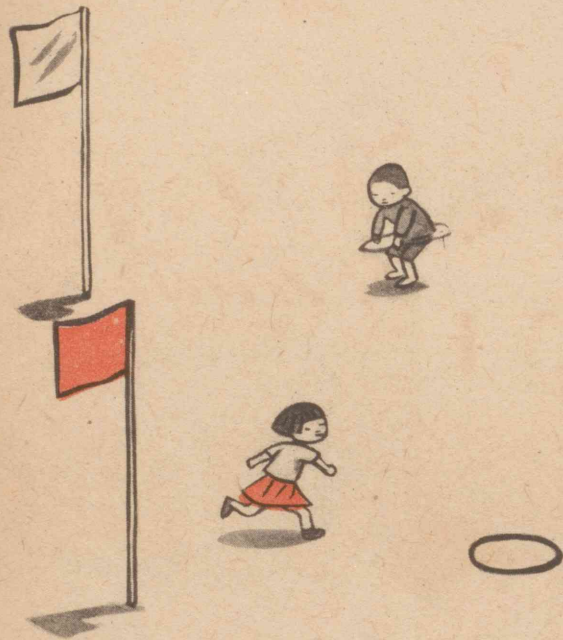
九 うんどうかい



きょうは うんどう
かいです。

しんいちさんたち
の かけっこが は
じまりました。

みんな げんきに
はしって います。



こんどは わぬききょうそいです。
 しんいちさんは あかぐみです。さぶ
 ろうさんは しろぐみです。かずこさ
 さんは いま、はたを まわって いま
 す。すんだ ひとは すわって いま
 す。



- しろは まだ、なんにん のこっ
て いるでしょう。
- あかは、なんにん のこっ て い
るでしょう。
- いま、どちらが かって いる
でしょう。

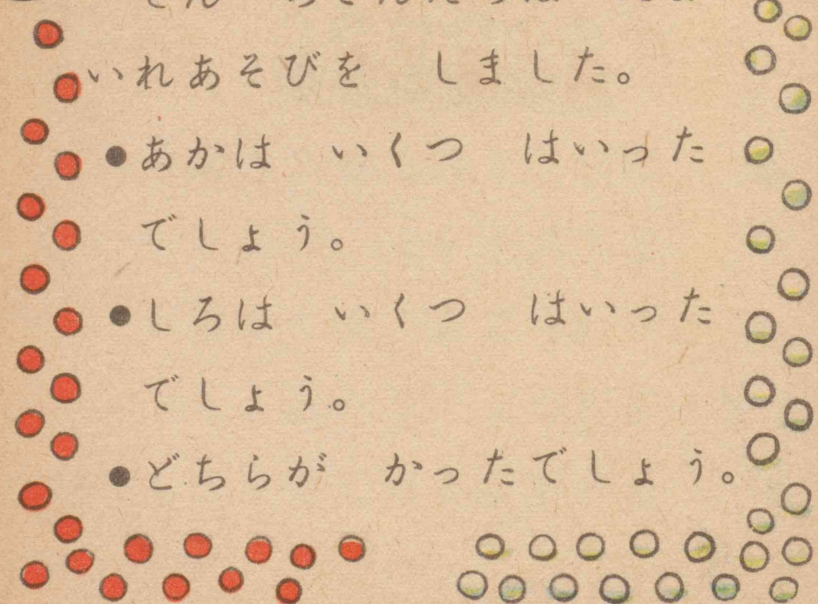


しんいちさんたちは たま
いれあそびを しました。

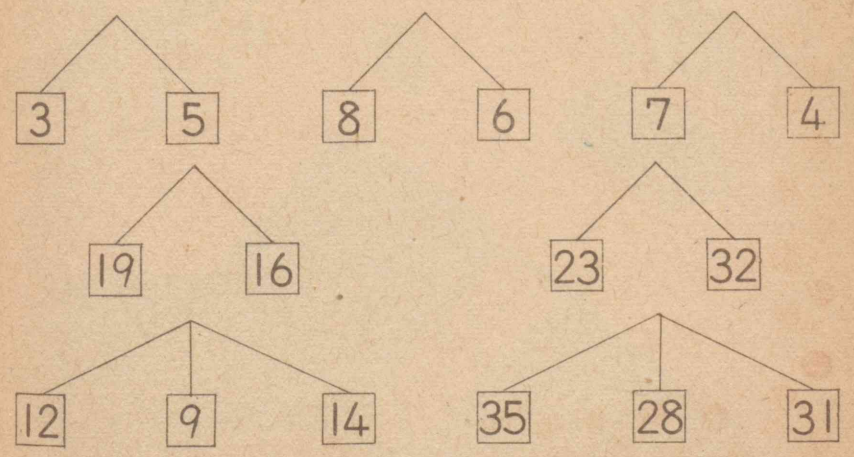
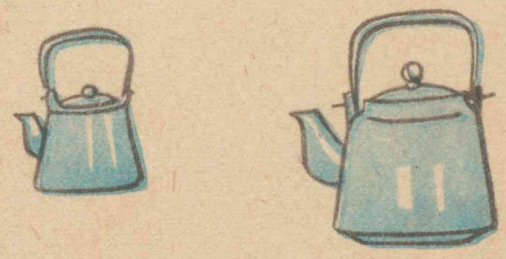
●あかは いくつ はいった
でしょう。

●しろは いくつ はいった
でしょう。

●どちらが かったでしょう。

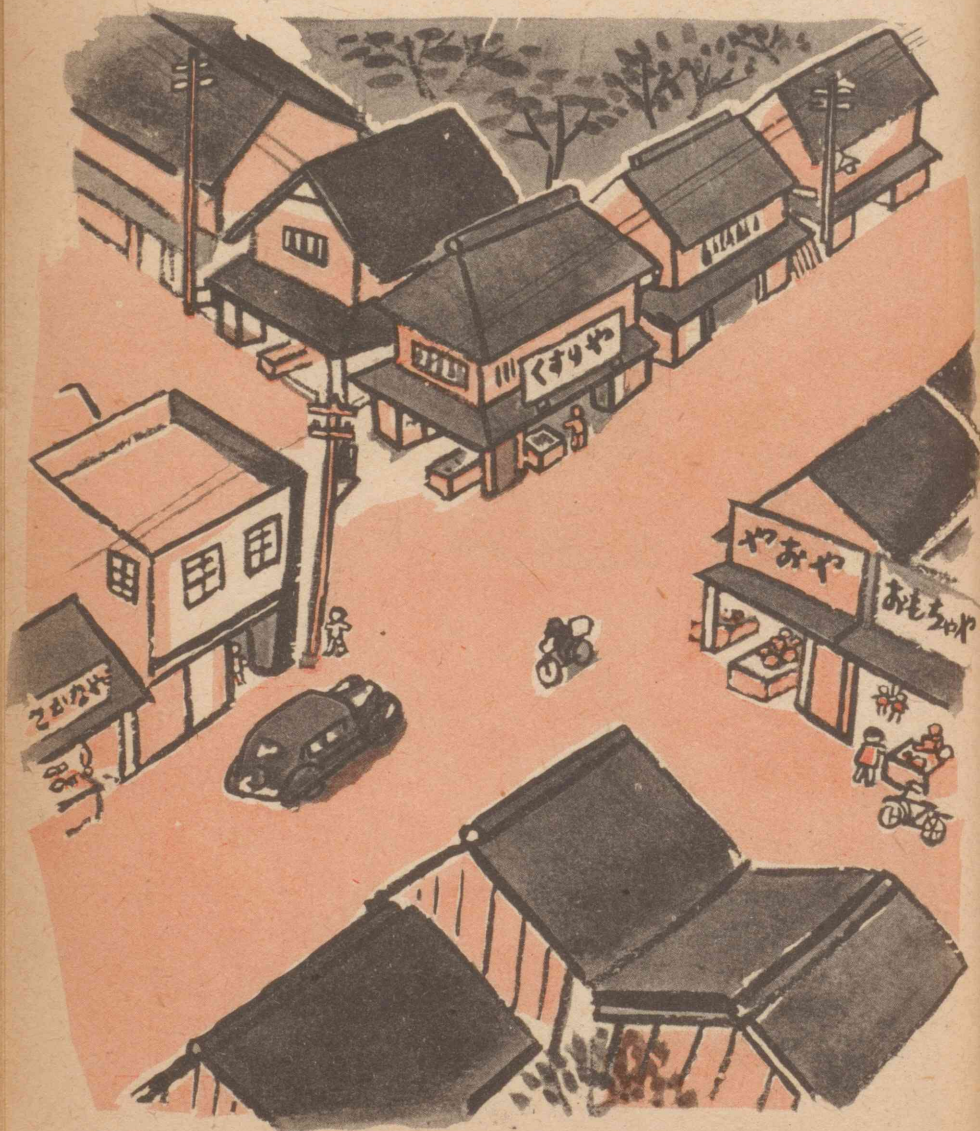


どれが おおきいでしょう。





おはなししましょう。



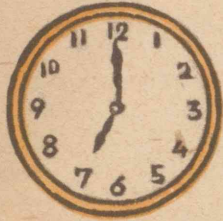
+ にちようび



きょうは にちようびです。
しんいちさんは、ねえさんと かき
を とりに いきました。おともだち
と かくれんぼも しました。
みなさんは にちようびに、どんな
ことを しますか。



ごぜん



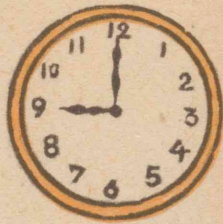
しんいちさんは ごぜん
7じに おきました。

②

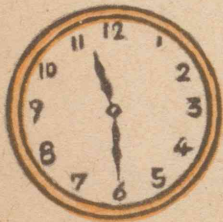


べんきょうを はじめ
ました。

ごぜん

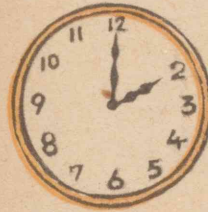


ごぜん



ねえさんと かきを
とりに いきました。

ごご



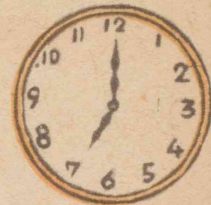
おともだちと かくれ
んぼを しました。

⑤



みんなで らじおを
きました。

ごご



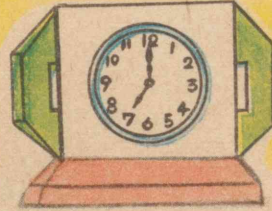
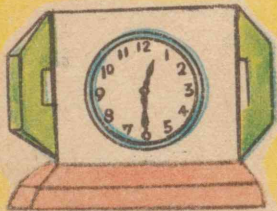
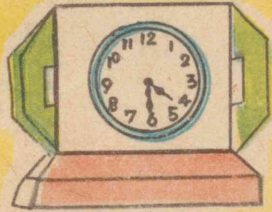
ごご



どこを しいて やす
みました。



なんじでしょう



ごぜん・ごごの どちらでしょう。

- (1) いちばんぼしを みつけました。
- (2) おひさまが できました。
- (3) つゆが、くさの はに たまっ
て います。
- (4) おべんとうを たべて、がっこ
うから かえりました。

十一 あさひがおか



かずこさんは、おともだちと あさ
ひがおかに のぼりました。

かえりに、きれいな きのはを
ひろって かえりました。

みなさんも、きのはひろいに いき
ましょう。



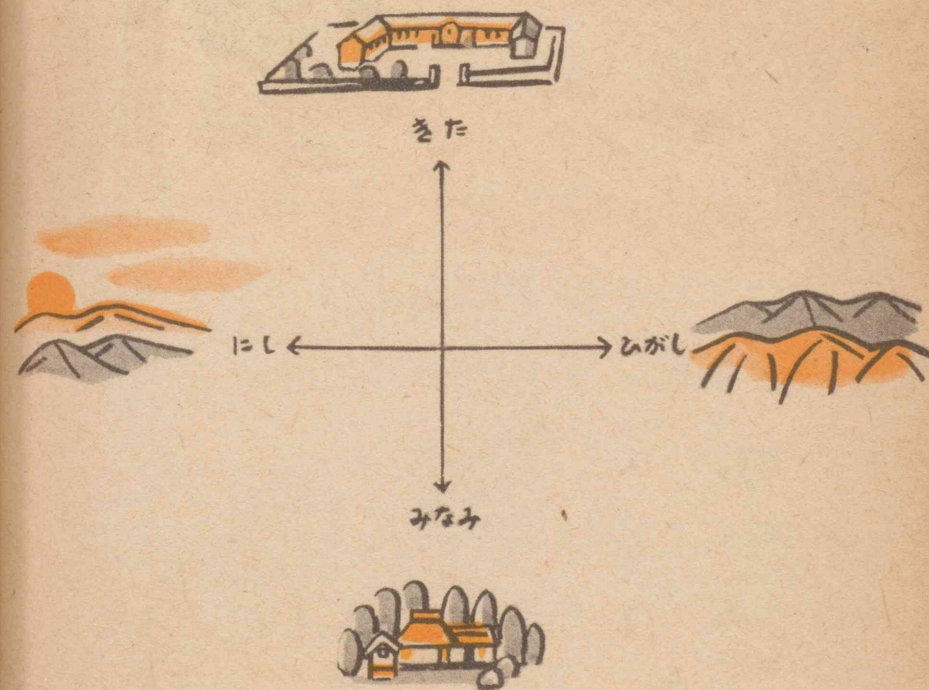
とおくのほうには、うみがみえます。
ちかきには、えきがみえます。
がっこうもみえます。
にしのほうに、おひさまがみえます。
にしのはんたいはひがしで

す。ひがしには、やまがつづいて
います。

がっこうはきたにあります。

きたのはんたいはみなみです。

みなみには、ひろしさんのいえが
みえます。





かえりに、かずこさんは おともだ
ちと、きれいな きのはを ひろい
ました。

かずこさんは、ひろった きのは
をかぞえました。

みんなで、85まい ありました。

しんいちさんは、70まい ひろい
ました。

さぶろうさんは、73まい ひろい
ました。

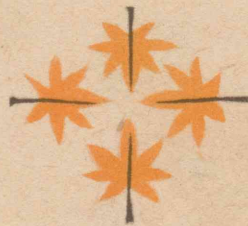
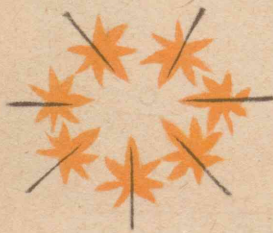
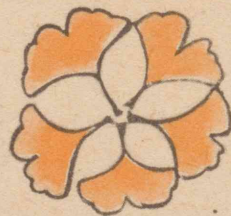
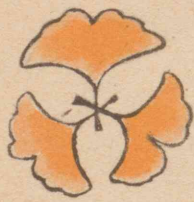
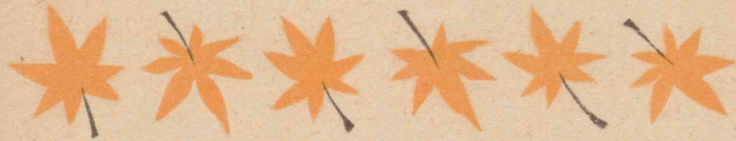
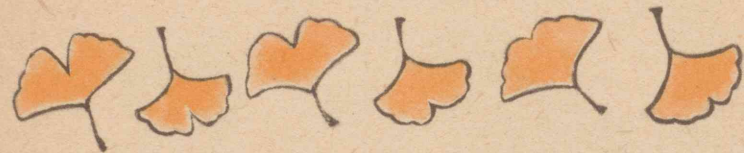
(1) 3にんで いちばん おおいの
は だれでしょう。

(2) にばんめに おおいの は だれ
でしょう。

(3) いちばん すくないのは だれ
でしょう。



かずこさんは おうちに かえって
から、きの はで もようをつくり
ました。



かず

かず

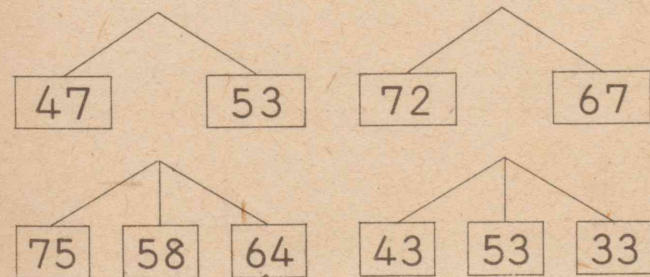
(1) 48、49、その つぎは いくつ
でしょう。

(2) 61、60、その つぎの かずは
いくつでしょう。

(3) 76から 99まで、かぞえましょ
う。

(4) 47から 35まで、はんたいに
かぞえましょう。

(5) どれが おおきいでしょう。





ひがし・にし・みなみ・きた

(1) おひさまの てる ほうは ど
ちらでしょう。

(2) はいる ほうは どちらでしょ
う。

(3) うんどうばの まんなかに た
って、まわりを みましよう。

ひがしには、なにが みえるでしょ
う。

(4) にしに みえる ものは なん
でしょう。

(5) みなみには、なにが みえるで
しょう。

(6) きたは どうでしょう。

十二 おつかい



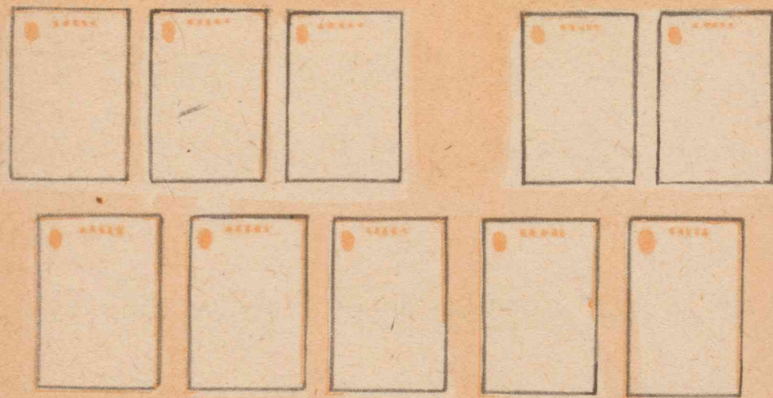
しんいちさんは よく、おとうさん
や おかあさんの おつかいを しま
す。

きょうも はがきを かいに いっ
たり、おかしを かいに いきました。

みなさんは どんな おつかいを
しますか。おつかいには、どんな こ
とに きをつけたら よいでしょう。

しんいちさんは、おとうさんと お
かあさんの はがきを だしに いき
ました。

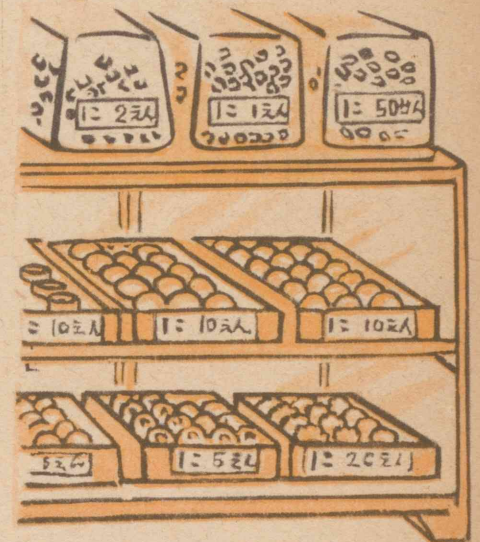
おとうさんの はがきは 3まいで
す。おかあさんの はがきは 2まい
です。



しんいちさんは、みんなで なんま
い あるか かぞえて、ぽすどに い
れました。

しんいちさんは おやつを かいに
いきました。

おみせには、1
えんや 2えんの
おかしや、50せ
んのおせんべい
などが ならべて
あります。

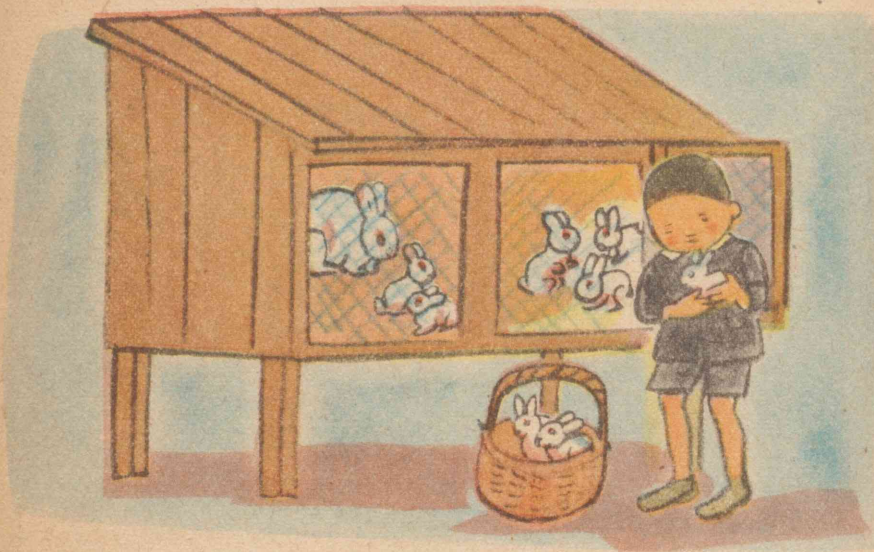


しんいちさんは、1えんのおかし
を 10こ かって かえりました。

おかあさんに おみせすると、

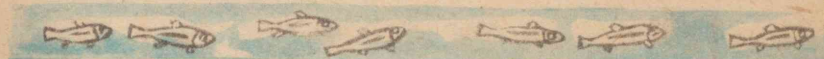
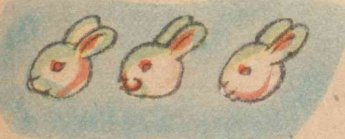
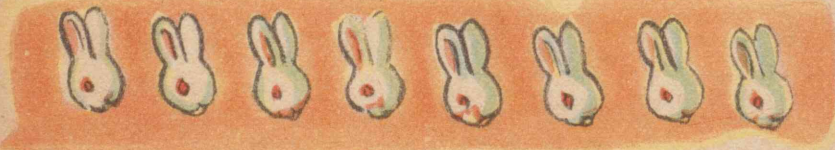
「ふたりで なかよく わけて た
べなさい。」

と、おっしゃいました。しんいちさん
は おとうとと わけて たべました。

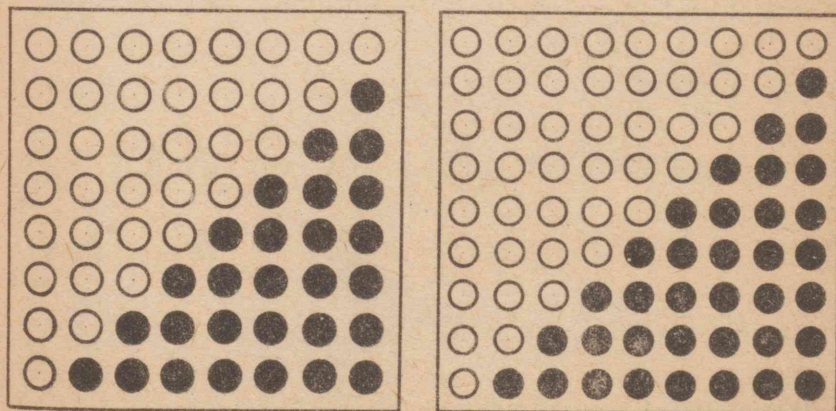
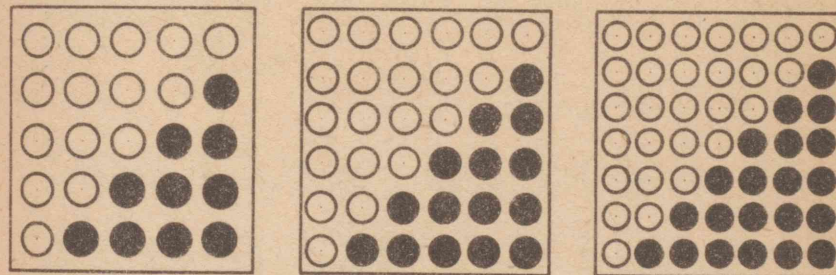
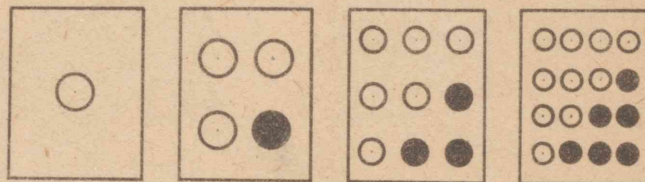


しんいちさんの うちには、こうさ
ぎが 8ひき います。

とみおさんの うちへ、3ひき あ
げる ことに しました。



くろまる・しろまる





たろうさん・はなこさん

(1) たろうさんは、えんぴつを 4
ほん もって います。おばさんから、
2ほん もらいました。

えんぴつは、みんなで なんぼんに
なっただしょう。

(2) たろうさんは みかんを 7こ
もって いました。3こ たべました。
みかんは まだ、いくつ のこって
いるでしよう。

(3) はなこさんは、いろがみを 10
まい もって いました。いま 3ま
いのこって います。

なんまい つかったでしよう。

十三 おしょうがつ *



たのしい おしょうがつが きまし
た。ゆびおりかぞえて まって いた
おしょうがつです。

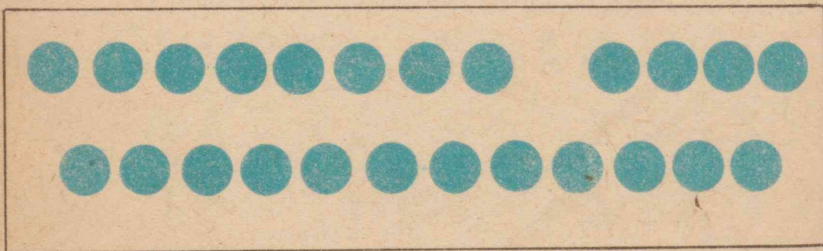
しんいちさんと かずこさんは、お
ともだちと いっしょに、たのしそ
うに あそんで います。

みなさんは おしょうがつに ど
んな ことを して あそびますか。



しんいちさんは、おともだちと たこあげをしています。

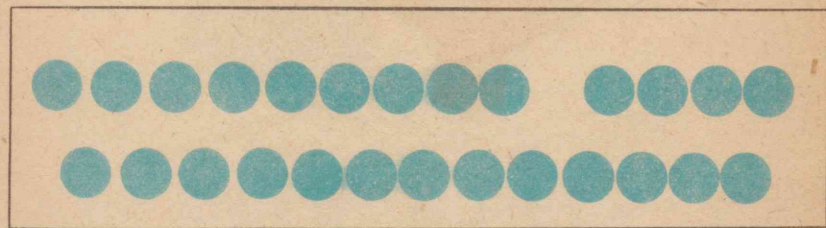
たこが やっつ あがっています。
あとから、よっつ あがりました。



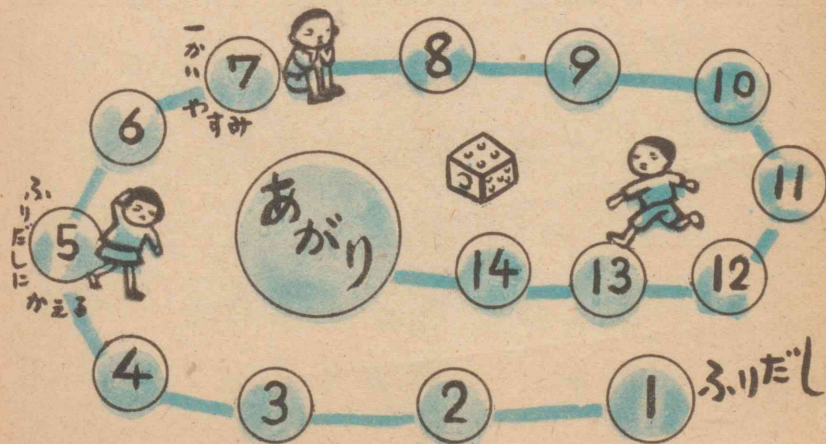
さぶろうさんの やっこだこが、いちばん たかく あがりました。

たこあげが すんでから、すごろくをしました。

しんいちさんは いま、9まで すすんでいます。さいころを ふりました。こんどは 4が できました。



13のところに すすみました。
あと ふたつで あがりです。



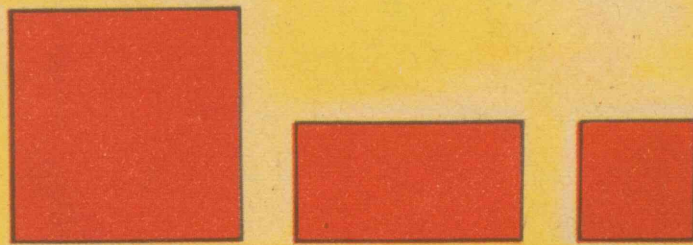


かずこさんたちは おりがみを して
います。

ふみこさんは、ふねを つくろうと
して います。

ときおさんは、ひこうきを つくろ
うと して います。

かずこさんは、ちょうちんを つく
ろうと して います。

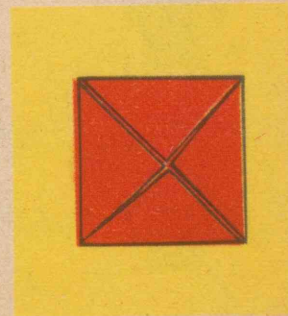


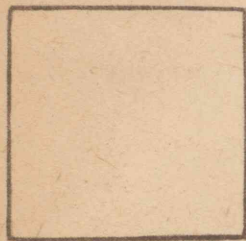
ましかくの いろがみを、ふたつに
おりました。ながしかくに なりまし
た。

また、ふたつに おりました。ちい
さな ましかくが できました。

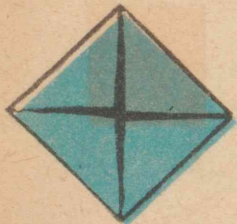
ひらくと、たて よこに せんが
できて います。

かずこさんは、かどを
みんな まんなかの ど
ころへ おりました。



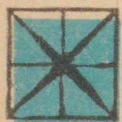


それから うらがえし
ました。



かどを おりました。

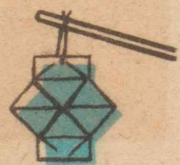
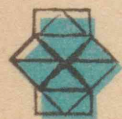
また、うらがえして
おりました。



こんどは、ひとつの
かどを ひらいて、なが
しかくに しました。



その したも、ながし
かくに しました。



ちようちんが できあ
がりました。

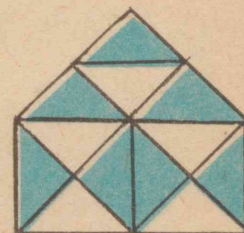


あお・しろ

あおと しろ、12まいの いろい
たで、いろいろな かたちを つくり
ましょう。

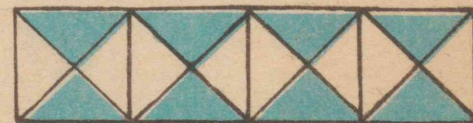
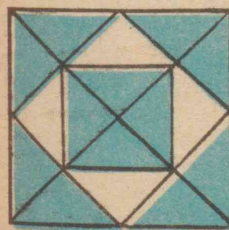


じどうしゃ



いえ

あおと しろ 16まいで、もよう
を つくりましょう。





たろうさん・はなこさん

(1) たろうさんは、みかんを かいに いこうと して います。10 えんさつが 1まいと、1えんさつが 4まい あります。おかねは みんなで いくら あるでしょう。

(2) はなこさんたちは はねつきを して います。はなこさんは 20まで つきました。ふみこさんは 16まで つきました。はなこさんは いくつ おおく ついたでしょう。

(3) はなこさんは くりを 12こ もらいました。3こ たべました。いくつ のこって いるでしょう。

十四 ゆき



ゆきが ふりました。

ゆきだるまを つくって いる 人が あります。ゆきの 中を、はしりまわって いる 人も あります。

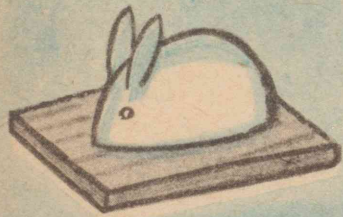
いぬも 大よろこびで はしって います。

みなさんは ゆきが ふったら、どんな ことを して あそびますか。

さぶろうさんは、あさ 7じに め
を さましました。おかあさんが、

「ゆきが たくさん ふりましたよ。」
と、おっしゃいました。

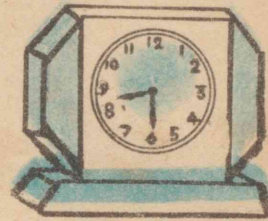
そとに でて みると、おにわも
はたけも まっしろです。



さぶろうさんは、
ゆきで 大きな
うさぎを つくり
ました。

「もう すぐ、8じです。がっこう
に おくれますよ。」
と、いう おかあさんの こえに お
どろいて、いそいで いえに はいり
ました。

8じはんに いえを
でて、がっこうへ い
きました。



ゆきで とおくの
ほうまで、まっしろに みえます。み
ちには、じてんしゃや くるまの と
おった あとが、いくすじも せんにな
って、はっきり ついて います。
ところどころに いぬの あしあと
がついて、うめの はなのように
みえます。





とおくのおかのほうに、まっくろな いぬが 5ひきはしりまわっています。さぶろうさんのすぐよこを、2ひきの いぬが はしっていきます。

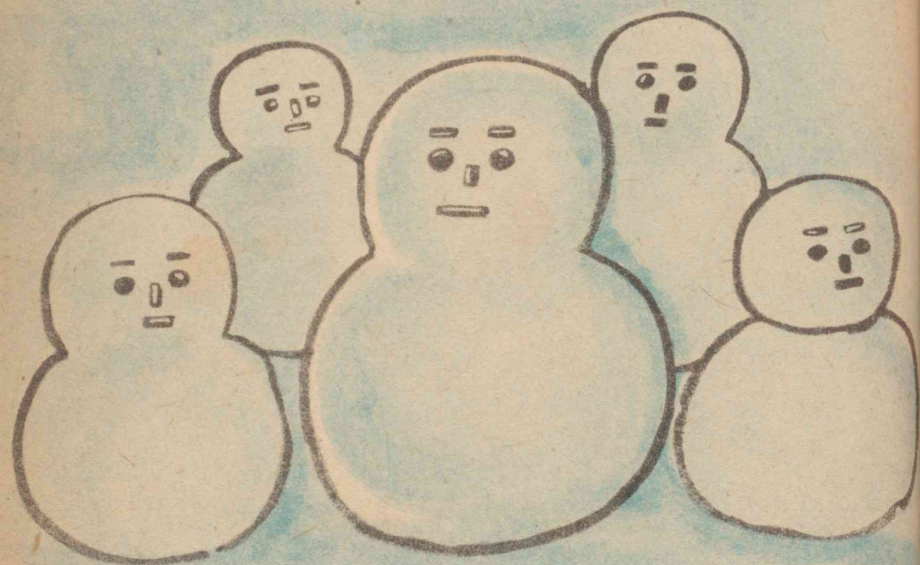
がっこうでは、おともだちが、ゆきの中で、げんきにあそんでいました。



さぶろうさんたちは みんなで、ゆきだるまをつくる ことになりました。

小さな ゆきの たまを ころがすと、だんだん 大きくなって いきます。





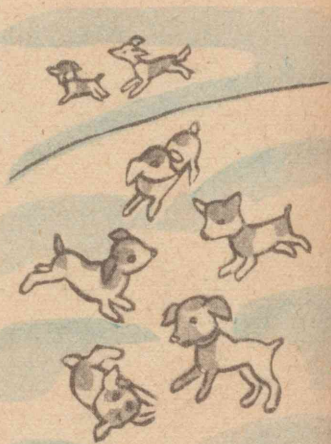
ゆきの たまを ふたつずつ つん
で ゆきだるまを つくりました。
すみで めだまを つくりました。
くちや はなも つくりました。
ゆきだるまが みんなで いっつ
できました。いちばん 大きいのは、
さぶろうさんたちの ゆきだるまです。

こんどは、ゆきの たまを なげて、
まどに あてあいをする ことに
しました。

さぶろうさんたちは、小さな ゆき
の たまを いくつも つくりました。
まども ゆきで つくりました。
みんな かわるがわる たまを な
げて います。



(1) いぬが 7ひき
あそんで います。2
ひき むこうへ とん
で いました。



のこって いるのは
なんびきでしょう。

(2) さぶろうさんたちは、ゆきだる
まを いくつか つくりました。

めだまは みんなで いくつ ある
でしょう。

(3) さぶろうさんは、ゆきの たま
を まどに いくつか あてました。

しんいちさんは みっつ あてまし
た。どちらが いくつ おおく あて
たでしょう。

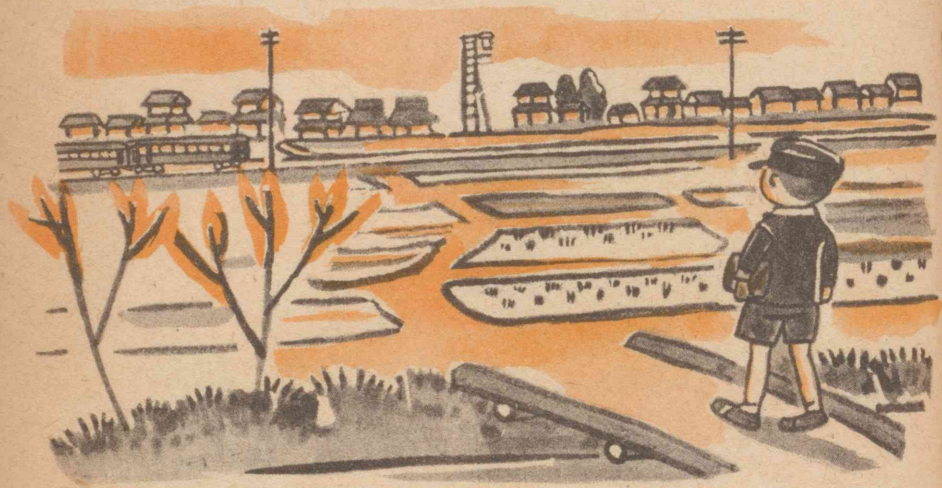
十五 おべんきょう



しんいちさんたちは、もう すぐ
二ねんせいになります。

しんいちさんと かずこさんは、い
ままでに べんきょうした ことを、
いろいろ おもいだして います。

みなさんは、どんな ことを べん
きょうしたでしょう。



しんいちさんは、ひるから かずこさんのうちへでかけました。

おがわのはしのところまできました。きしゃがひがしのほうから、にしのほうへはしっていくのがみえました。

とおくのほうには、たかいひのみやぐらがみえます。

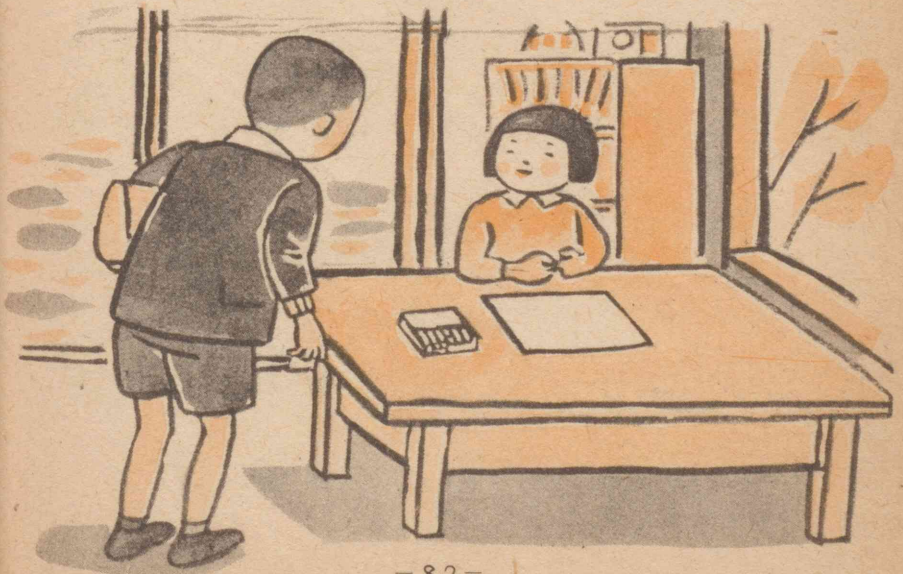
ひのみやぐらは、かずこさんのい

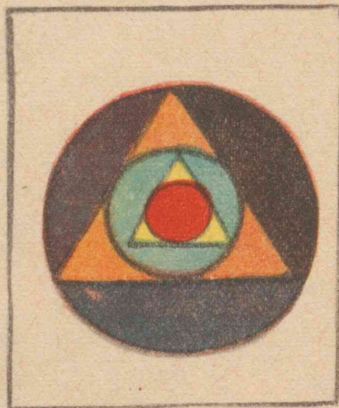
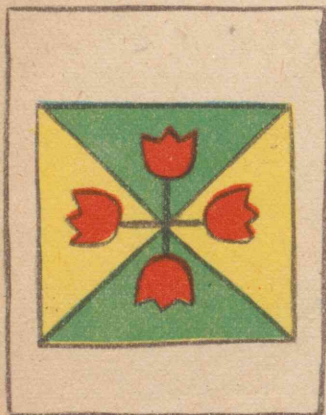
えのまえにあります。

ひのみやぐらのにしに、いえが8けんみえます。ひがしに11けんみえます。

かずこさんのいえについたのはごご2じはんでした。

かずこさんはもようをかいていました。しんいちさんもかくことにしました。





かずこさんは、ましかくを かいて、
かどから かどへ せんを ひきました。
さんかくが よつつ できました。
かずこさんは、その さんかくの 中
に、はなを かきました。

しんいちさんは、まるで さんかく
を つかって、もようを かきました。
きれいに いろも ぬりました。

かいた もようを みせあって い
ると、かずこさんの おかあさんが
おやつを くださいました。

まるい おまんじゅうが 4 こと、
ながしかくの おせんべいが、12ま
い ありました。



ふたりで なかよく いただきまし
た。

それから、かずこさんは いままで
にかいた えが、なんまい あるか
かぞえて みました。

かみの ふくろから だして、

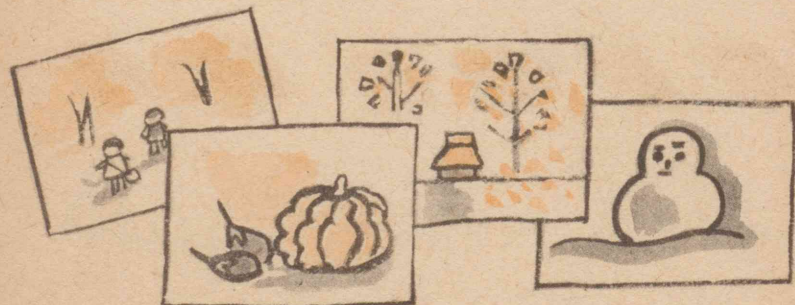
「1, 2, 3, 4, 5」

ど、かぞえて いきました。

みんなで、35まい ありました。

一ねんせいの はじめに かいた
えから、じゅんばんに ならべました。

そうして、まちがわないように ば
んごうを つけました。



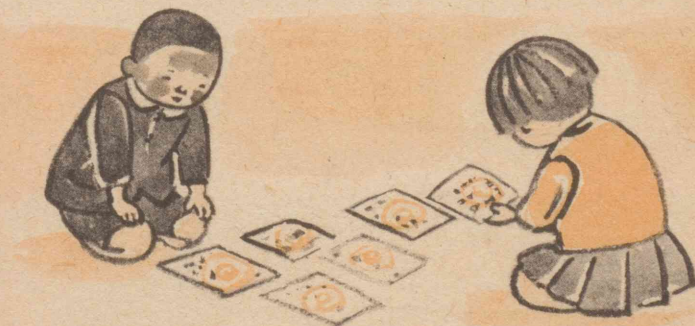
ふくろの 中に、さんすうの もん
だいも、はいつて いました。

どの もんだいにも、あかまるが
ついて います。

しんいちさんと かずこさんは、ど
んな もんだいが てて いたか、一
まい 一まい みて いきました。

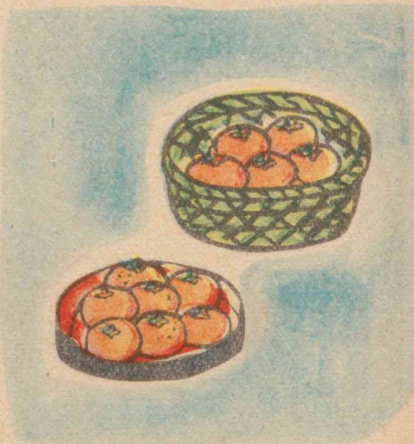
どの もんだいも、みんな できそ
うです。

ふたりで もう いちど、べんきょ
うして みる ことに しました。

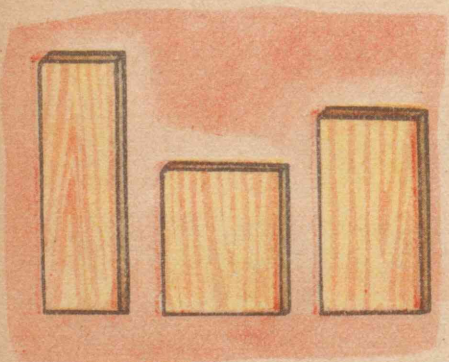


べんきょうしたのは、つぎのような
もんだいでした。

(1) みかんが、
かごの中に、5
こあります。お
ぼんの上に、7
こあります。



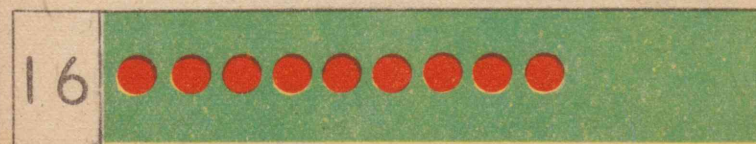
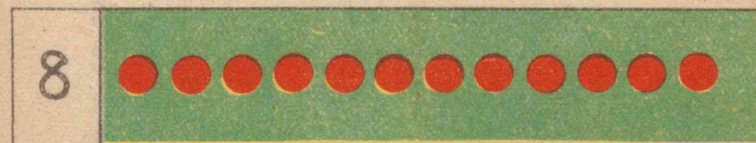
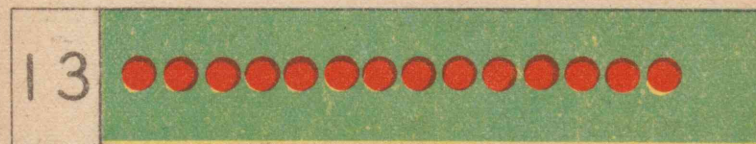
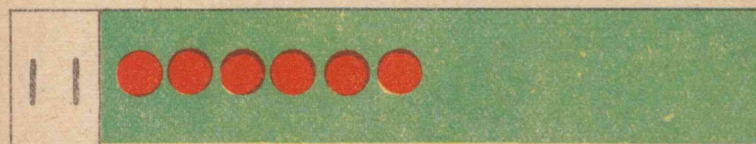
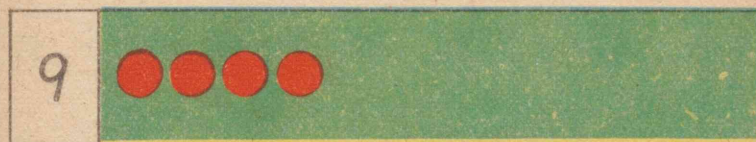
みんなで、いくつでしょう。



(2) 3まいの
いたの 中で、
たての ながい
のは どれでし
ょう。よこの ながいのは どれで
しょう。

(3) 下の まるは いくつでしょ
う。

ひだりに かいて ある かずど
いくつ ちがうでしょう。



(4) みのるさんは、おみせに ち
ょうめんを かいに いきました。

あつい ちょうめんは 15 えん
です。うすい ちょうめんは 13
えんです。いくら ちがうでしょう。

(5) かずこさんは、4にんのお
きゃくさんに、おまんじゅうを ふ
たつずつ だそうと して います。
いくつ いるでしょう。

しんいちさんたちは おべんきょう
が すんでから、おにわに でて あ
そびました。

しんいちさんが いえに かえった
のは ごご 5じでした。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

31 32 33 34 35 36 37 38 39 40

41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

51 52 53 54 55 56 57 58 59 60

61 62 63 64 65 66 67 68 69 70

71 72 73 74 75 76 77 78 79 80

81 82 83 84 85 86 87 88 89 90

91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

先生方へ

この本は、十五の単元から組立てられています。
この本にあらわれた生活経験と数量指導の重点は、つぎのとおりです。

単元	生活経験	理解と技能
1 がっこうへ	家から学校までの生活を指導し、その間に、多い・少いの観念を養う。数え方・名数の初步指導をする。	○多い・少いのことばにつき比較級最大級を用いる。 ○10以下の具体物の数え方。
2 がっこうの にわ	前単元に連絡して、児童の学校環境の理解を中心に取り扱い、その間に長短の観念を整理確立する。数え方をしだいに発展させる。	○長い・短いのことばについて、比較級・最上級を用いる。
3 うんどうば	前二単元と連絡して、児童の学校生活の重要な一要素をなしている運動場の遊びを中心に、生活を反省させ、その間に、高低の観念を整理確立させる。数え方を12まで発展させる。	○高い・低いのことばについて、比較級・最上級を用いる。
4 でんしゃごっこ	前三単元は、学校生活を中心であったが、この単元は、家庭に通じた遊びに移る。その間に、遠近・前後の観念を確立させる。数字を使用することも、あわせ学習する。	○前、後、遠い・近いのことばについて、比較級・最上級を用いる。 ○12までの数の数え方・かき方 ○順序数
5 あめふり	前の単元と連絡して、雨ふりの日の家庭の遊びを中心に学習し、その間に、いろいろな形について考察する。	○三角・まる・四角
6 かわあそび	季節的な遊びの中に、深浅に関する観念を整理	○深い・浅いのことばにつき、比較

	確立する。数範囲を15まで発展させる。	級最上級を用いる。 ○15までの数の数え方・かき方
7 てんらんかい	夏休みのあとの展覧会に参加させ、その間に、上下・縦横の観念を整理確立する。数範囲を35まで拡大させる。	○35までの数範囲の数え方・かき方 ○縦・横 ○上下のことばにつき比較級 最上級を用いる
8 つみきあそび	積木遊びをする中で、厚い・薄いの観念を整理確立する。	○厚い・薄いのことばにつき、比較級最上級を用いる。
9 うんどうかい	運動会でいろいろ競技をさせる。これらを通して、二・四・六の数え方や数の大小を取り扱う。	○数の大小 ○物を二つずつ数える。
10 にちようび	日曜日一日の生活をもとにして、時刻の観念を養う。	○午前何時、午前何時半、午後何時、午後何時半
11 あさひかけか	遠足、散歩などの生活の中に、方位の観念を養う。数範囲を100まで拡大させる。	○東・西・南・北 ○100まで数える。
12 おつかい	おつかいなどで、数量を確実に取り扱わせる。その間に、数の合成分解を理解させ、加減指導の準備をする。円・銭も取り扱う。	○10までの数の合成分解を通して、加減の準備をする。 ○円・銭 ○問題解決の簡単なもの
13 おしょうかい	お正月の遊びの指導の中に、いろいろな図形についての観念を養う。なお、数の合成分解の理解を通して、加減指導の準備をする。	○20までの数の合成分解を通して、加減の準備をする。
14 ゆき	雪の降った一日の生活の中の数量関係を明確にし、生活上の数量意識を高める。	○数量的表現をよみとる力 ○復習
15 おべんきょう	学習方法を反省させる。	○復習

さくいん

数のよみ方 書き方

数え方

・個数が35以下の具体的な物を数えたり、書いたりする。…1-34

85
○100まで数える。…53-56

○物を一つずつ数える。…1-29

○物を二つずつ数える。…39-40, 41, 42, 77, 79

たし算

○数の分解を通して、加法の準備をする。…59, 62-63, 65-66, 70-71, 79, 82, 87-89

ひき算

○数の合成を通して、減法の準備をする。…59, 62-63, 70-71, 79, 84, 88

測定

○午前何時、午前何時半、午後何時、午後何時半…47-49, 73-75, 77, 79, 82, 89

○東・西・南・北…52, 57, 81-82

○次のことばについて、比較級、最上級を用いる。

×多い・少…1-18, 30, 41, 43-45, 51, 54, 56, 61, 65, 70, 88

×長い・短い…12, 14, 35-36, 87

×遠い・近い…19, 45,

51, 65, 75, 81

×深い・浅い…27-29

×厚い・薄い…35-38, 89

×高い・低い…15-18, 35-37, 45, 65, 81

×上・下…31, 45-46, 78

×前・後…19-21, 39-40, 45, 82

名数

○円・銭 58, 60, 89

問題解決

○数の合成 分解を用いて、簡単にできるもの…59, 61, 63, 65-66, 71, 75, 79, 84, 87

65-66, 71, 75, 79, 84, 87

図形

○四角…23-25

○ま四角…67-70, 83

○長四角…68-70, 87

○三角…23-26, 70, 83

○まる…23-26, 44, 76, 83

○縦・横…31-33, 68, 87

○かど…68, 83

○線…68, 74, 83

Copyright 1950, by
The Gakkō Toshō Kenkyūkai

All rights reserved

The text of this publication or any part thereof may not be reproduced in any manner whatsoever without permission in writing from the authors.

小算101

本書の指導書・ワークブック・註釈書ならびにこれに類する一切のものの無断発行を禁ず。

さんすうのがくしゅう 一ねんせい Approved by Ministry of Education
(Date 1950)

編者

広島市東千田町 広島高等師範学校附属小学校内

財団法人 学校図書研究会

会長 広島高等師範学校教授 森岡文策

担当執筆者 広島高等師範学校教諭 磯部唯之

河内山忠雄

村井義雄

脇辰徳

表紙 大槻定雄

さしえ 大石哲路

昭和25. . .印刷 昭和25. . .発行 Y

著作者 財団法人 学校図書研究会 会長 森岡文策

発行者 学校図書株式会社 東京都港区芝三田豊岡町8 代表者 川口芳太郎

印刷者 図書印刷株式会社 東京都港区芝三田豊岡町8 代表者 川口芳太郎

東京都港区芝三田豊岡町8

発行所 学校図書株式会社

11/10/10

広島大学図書

0130449771



教

34

013